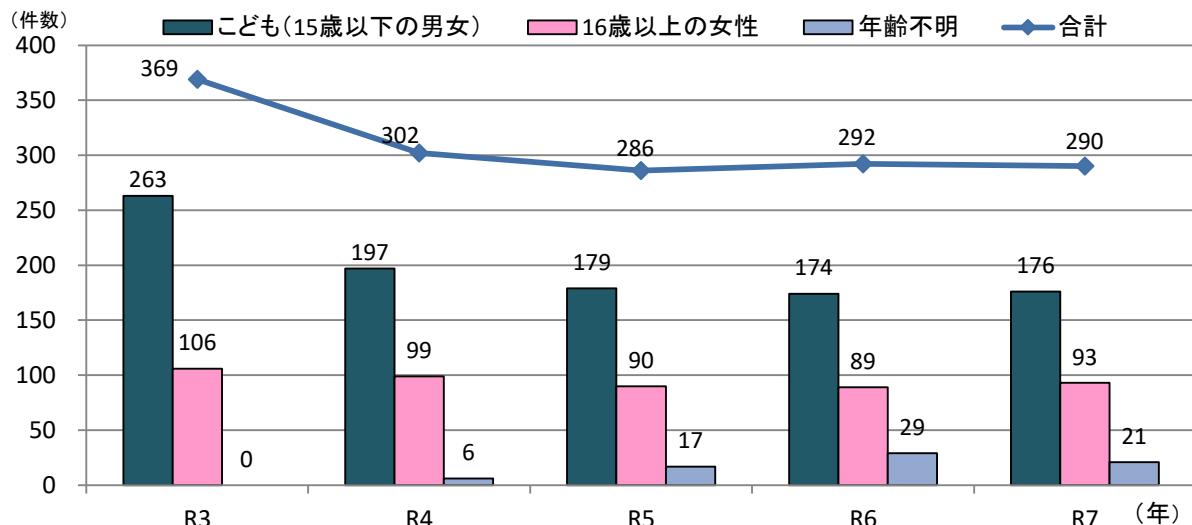


子ども・女性に対する声掛け事案等の概況 (令和7年)

生活安全部人身安全・少年課
企画・指導係

1 声掛け事案等認知状況の推移(過去5年)

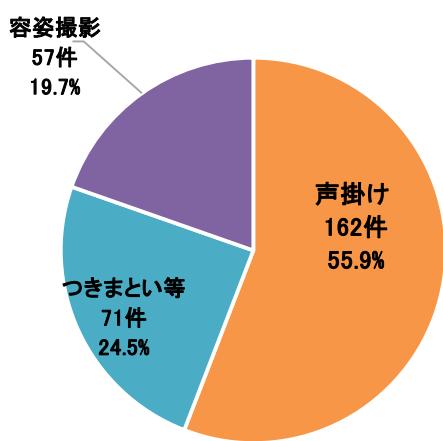
令和7年中の子どもや女性に対する性犯罪等の前兆とみられる声掛け事案等の認知件数は290件です。令和4年以降、認知件数は横ばいに推移しています。



「声掛け事案等」の中には、子どもや女性に直接声を掛ける「声掛け」のほか、声を掛けずに、後をつけたり、立ち塞がったりする「つきまとい等」、スマートフォン等のカメラで姿を撮影する「容姿撮影」といった子どもや女性が不安を感じて警察に届け出られた事案件数を含めています。

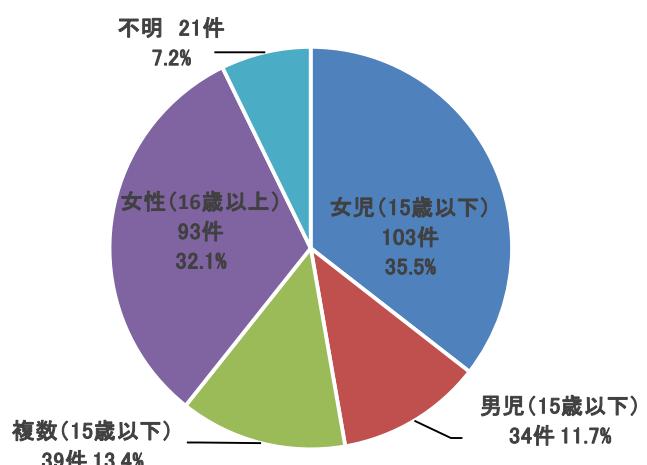
また、子どもとは、15歳以下の男児・女児のことを指しています。

2 形態別認知状況(令和7年中)



子どもや女性に直接声を掛ける事案が大半を占めています。

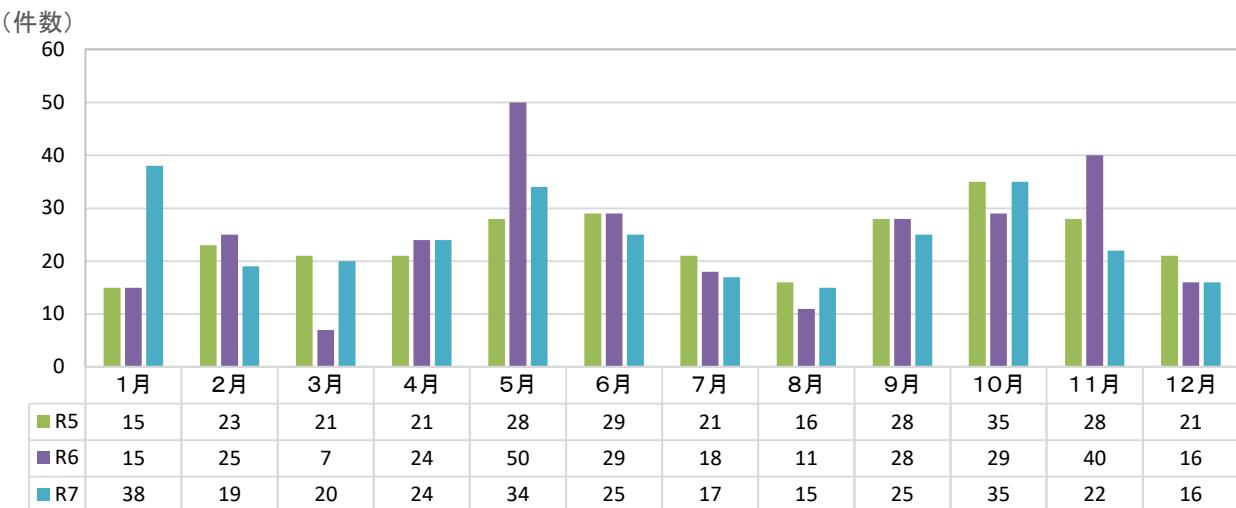
3 対象別認知状況(令和7年中)



全体の約 60.6 %を15歳以下の子どもが占めています。

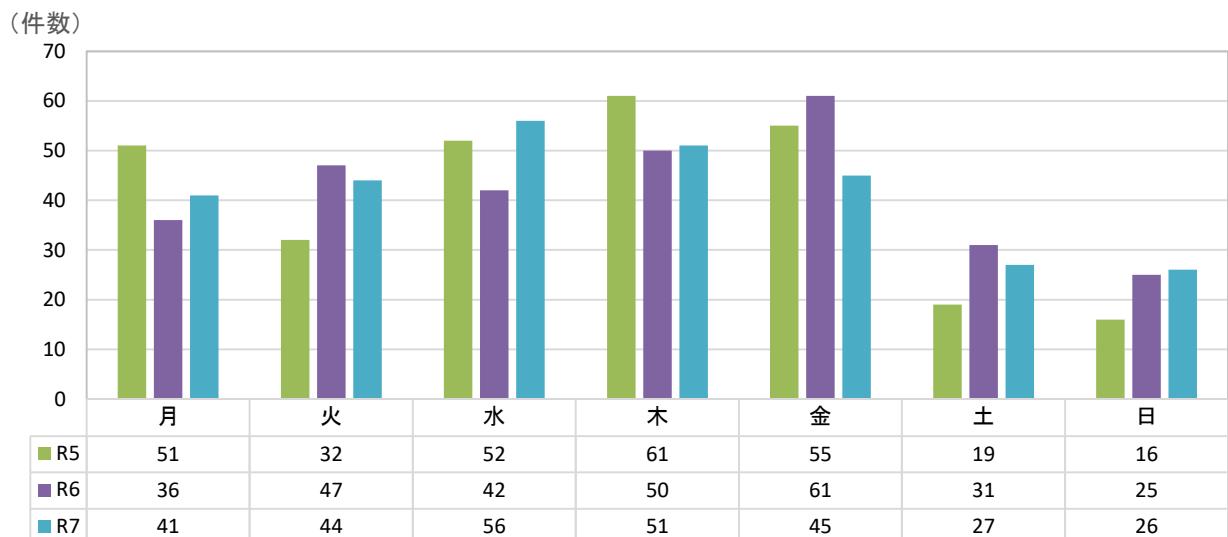
※ 不明とは、第三者からの通報のため、年齢がわからなかったものです。

4 月別発生状況(過去3年)



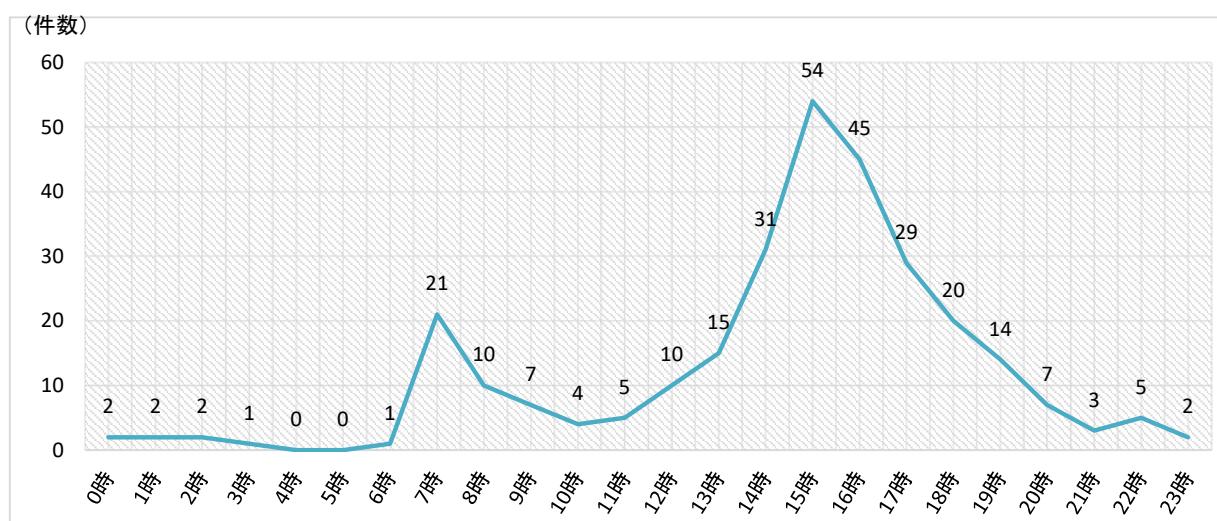
発生した月ごとに見ると、春や秋の発生が多い傾向にあります。

5 曜日別発生状況(過去3年)



発生した曜日ごとに確認すると、平日の発生が多い傾向にあります。

6 時間帯別発生状況(令和7年中)



発生した時間帯ごとに確認すると、登下校時間帯に発生が集中しています。